

学校の教育目標	・進んで学ぶ生徒 ・心の豊かな生徒 ・健康でたくましい生徒
---------	-------------------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

人権教育やSDGsに対する取り組みを核とした、総合的な学習の時間の推進を目指す。

- 1 人権教育を各学年、発達段階を踏まえ、「理解する」「考える」「行動する」という学習の3ステップを展開し、計画的な指導を実践する。
- 2 読書科の授業を通して、人権課題や社会問題などに触れ、よりよく生きるために必要な知識・思考力・行動力を養う。
- 3 SDGsについては、年間の総合的な学習の時間の主題に捉え、様々な調べ学習を通してよりよく生きる力や課題解決の能力を養う。
- 4 集団で課題に取り組み、新たなものを創出する活動を通して、周囲と協力することや粘り強く取り組むことの大切さを身につけさせる。
- 5 自らの特性を知り、その上で職場体験を計画・実施することで、自己理解を深め自己の生き方について考えさせる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能		
第1学年	第2学年	第3学年
・物事の特徴を理解し、必要な情報を収集できる。	・必要な情報を収集し、分析できる。	・必要な情報を収集、分析し、問題解決に役立てる。
思考力、判断力、表現力等		
第1学年	第2学年	第3学年
・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する	・必要な情報を収集し、多角的に分析する。	・仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する。
学びに向かう力、人間性等		
第1学年	第2学年	第3学年
・自らの行為について責任をもって意思決定する。	・自己の考えを踏まえ、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重する。	・互いの長を生かし、協働して課題を解決する。

内 容	学習対象	学習事項
第1学年	・SDGsに関する身近な事象 ・自らが興味を持った人権に関わる本 ・校外学習で地域社会のSDGs	・地域社会のSDGsに関する身近な事象について、協同で調査を進め、理解を深める。 ・人権に関わる本を読み、ブックトークによる発表活動を行い、表現力を高める。 ・校外学習先で、地域社会の発展とSDGsとの関係性について体験し、まとめることで、社会への理解と参画意識を高める。
第2学年	・SDGsに関する企業の取り組み ・自らが興味を持った人権に関わる本 ・林間学校での協同活動 ・職場体験	・SDGsに関して、企業で実際に行われている取り組みについて、協同で調査を進め、まとめることで、理解を深める。 ・人権に関わる本を読み、ブックトークによる発表活動を行い、表現力を高める。 ・林間学校において、集団で協力して農業体験や様々な体験活動を行い、成果をまとめることで、自然愛護の精神や勤労意識を高める。 ・職場体験を計画し実施することで、勤労意識や社会参画の大切さを知る。
第3学年	・SDGsに関する社会全体での取り組み ・自らが興味を持った人権に関わる本 ・自らの進路に関わる学習と選択	・SDGsに関して、社会全体で大きな課題となっている出来事とそれに対する取り組みについて、協同で調査を進めて理解を深め、その解決方法を考察し思考力や表現力を高める。 ・人権に関わる本を読み、ブックトークによる発表活動を行い、表現力を高める。 ・自らの進路に対する調査を進め、様々な進路の中から自己実現のための選択をする。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・全学年とも、人権やSDGsを主なテーマとする。	・学習を発表することに重点を置いた指導をする。 ・個に応じた指導の工夫をする。 ・ICTを活用した指導をする。	・運営委員会において連絡調整、支援を図る。 ・学年、全校教職員の指導体制を確立する。	・個人内評価を重視するため、「振り返り」を確実に実施する。